

令和8年度

情報学部第3年次編入学試験問題

小論文

令和7年8月21日(木) 9:30~10:30

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
2. 試験開始の指示があったら、冊子の内容を確かめること。冊子は表紙1枚、問題紙4枚、解答用紙2枚、草稿用紙1枚である。不足、重複、印刷不鮮明の箇所があった場合には、直ちに申し出ること。
3. 解答を書き込む前に、解答用紙と草稿用紙の所定の箇所に受験番号を記入すること。解答用紙と草稿用紙に氏名を記入してはいけない。
4. 解答は解答用紙の所定のマス目の中に横書きで記入すること。1マスに1字ずつ書くこと(句読点もそれぞれ1字に数える)。解答のはじめに、論題の文章を記載する必要はない。
5. 試験終了時刻まで退室してはいけない。
6. 解答用紙、草稿用紙は持ち帰ってはいけない。その他は持ち帰ってよい。

下の文は、「情報の環境問題」とそれを回避するための試みについて論じたテキストからの抜粋（一部改変）である。文全体を読み、次の問すべてに答えよ。

（出典：笹原和俊『ディープフェイクの衝撃—AI技術がもたらす破壊と創造』株式会社 PHP 研究所、2023 年）

問 1：次の (1) から (3) について、著者の考えを、あわせて 400 字以内で説明せよ。

(1) 著者はなぜ「情報の環境問題」（下線部）と言うのか。(2) この問題の発生原因は何か。(3) この問題の重大性はどこにあるのか。

問 2：情報の環境問題の解決策として紹介された 4 つの方法の問題点と限界について、自分の考えを 400 字以内で述べよ。

---

この部分につきましては、

著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、

著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、

著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、

著作権の都合により公開いたしません。

---